

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼№	22	事例№	10	依頼者	日進アシスト(株)	実施場所	日進市立香久山小学校
実施対象	日進市立香久山小学校 小学生 57 人（放課後子ども教室及び児童クラブ）						
実施日時	令和 2 年 2 月 20 日（木）15 時 15 分～16 時 00 分（45 分）						
テーマ	きみは水なしで生きられるか！？						

●依頼内容

日進市立香久山小学校の放課後子ども教室及び児童クラブでは、定期的に外から講師を招いて講座を開催しており、今回、「環境」に関する講座として、子どもたちが水の大切さについて考える授業を行うこととなった。授業の実施に向けて、水の大切さについて考えるための講座の講師の紹介と学習内容の企画提案をしていただきたい。

●講師：あいち eco ティーチャー

「あいち eco ティーチャー」は、豊かな知識や経験等を若い世代につなげるために愛知県が養成した環境学習講師で、子どもたちが環境について体験的に楽しく学べる講座を行っている。「あいち eco ティーチャー」では5つの講座が用意されているが、そのなかから、今回の依頼内容である水の大切さなどに関する授業として「きみは水なしで生きられるか！？」を行うこととした。

●授業の内容

体験 講座	地球における水の量に関する話	地球をペットボトルにたとえ、地球で私たちが使える水の量はほんのわずかであることが示された。	15 分
	水の使い方に関する話	講師から児童にむけて、各家庭で使っている水の量について質問が投げかけられた。その上で、子どもたちと一緒に、1日にどれくらいたくさん必要なのかを示した巻物のような長い紙（ペットボトルの写真）を教室の中に広げて確認した。	10 分
	水を大切に使うことに関する話	講師から「水が2リットルしかない場合」にどうするかという質問が投げかけられ、子どもたちからは「飲料」、「食事」等の返事が返され、水の使い方について確認した。	10 分
	水を節約して使うことに関する話	まとめとして、貴重な水を節約しながら大切に使うことについての注意事項が示された。	10 分

●授業の様子

講座は、4人の講師が水に関連するテーマごとに分担して行われた。講師は子どもたちの興味を確認しながら、質問を投げかけ、答えさせることで、水に関する様々な事象について考えるきっかけを与えていた。放課後子ども教室（児童クラブ）という特性から、低学年の子どもたちにはやや難しい内容もあり、少数いた上級生の様子をながめるような場面もあったが、利用される水の量を示した長い資料に対しては、低学年から高学年まで全員が楽しそうに歓声を上げながら参加する姿がみられた。

■ 1日に必要な水の量を示したペットボトルの写真



■ 水のむだ使いに関する質問のやりとり

